

7/8 *Hirado City Photo News*
旗松亭がマスク2万枚を寄贈



平戸市役所市長室において、国際観光ホテル旗松亭のサンディ・リー代表取締役社長から不織布マスク2万枚が寄贈されました。

サンディ・リー代表取締役社長は「早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願っている。ともに協力してこの困難を乗り越えましょう」と話しました。受け取った黒田市長は「市民の皆さんの不安解消のため、有効に活用したい」と述べました。

今回、寄贈されたマスクは市内の小中学校で活用されます。

7/6 *Hirado City Photo News*
(有)酒の一斗が消毒液を寄贈



平戸市役所市長室において、(有)酒の一斗の池野晋一代表取締役から消毒液「キンとらんば(2リットル)」30袋が寄贈されました。

池野代表取締役は「自社で製作した消毒液をぜひ活用してほしい」と話しました。受け取った黒田市長は「市民の皆さんが不安に思っている中、消毒液の寄贈はありがたい。有効に活用させていただく」と述べました。

今回、寄贈された消毒液は市内の介護施設や海水浴場などで活用されます。

7/11 *Hirado City Photo News*
日常生活で感じた思いを自分の言葉で伝える



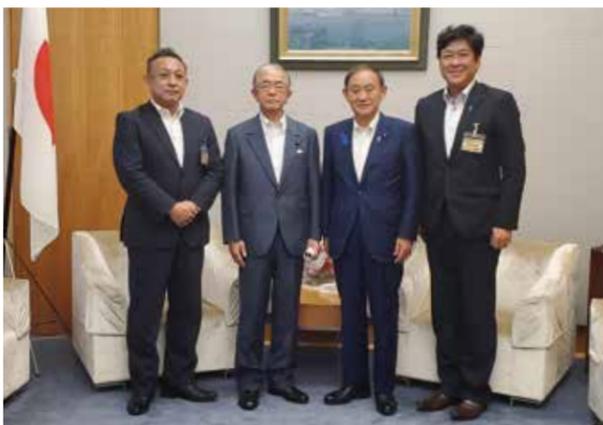
平戸市議会議場において、令和2年度第15回平戸市「少年の主張」大会が開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、無観客で行われ、議会中継システムを活用したライブ配信も行われました。受賞者は以下のとおりです。

【最優秀賞】「小学生の部」白石真央さん(山田小6年・写真右)、「中学生の部」寺田光希さん(中野中3年)

【特別賞】「中学生の部」福井和奏さん(田平中3年・写真左)



7/15 *Hirado City Photo News*
官邸にて平戸城城泊の事業報告



総理大臣官邸において、平戸城懐柔櫓宿泊施設化改修・運営事業(城泊)に係る事業報告を行いました。

報告には、金子原二郎参議院議員と「平戸城城泊JV」のKessha(株)上山代表取締役も同席し、菅官房長官に城泊についての進捗状況報告と意見交換などを行いました。

菅官房長官は「平戸市の新しい観光の魅力として、国内だけでなく海外からも多くの人たちに訪れてもらえるよう、政府としても支援していきたい」と話されました。

7/14 *Hirado City Photo News*
川内町で生まれた英雄を偲んで



川内町の鄭成功廟において、鄭成功生誕祭が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、前夜祭は中止となり、生誕祭は神事のみ関係者だけで行われました。

鄭成功まつり実行委員会の藤澤美好委員長は「今回は関係者のみでの開催であったが、この状況の中、神事だけでも開催出来てよかった。2024年は鄭成功生誕400周年の節目の年であるため、組織を立ち上げそれに向けて準備を進めていきたい」と話しました。

7/3 *Hirado City Photo News*
幸福な社会づくりに取り組む



平戸市役所市長室において「社会を明るくする運動」に伴う総理大臣メッセージの伝達が行われ、平戸・松浦地区保護司会平戸分区の藤井徹会長がメッセージを読み上げました。

「社会を明るくする運動」はすべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行歴のある人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。本運動のシンボルマークである「幸福の黄色い羽根」は、犯罪のない幸福な社会づくりに取り組む決意のしるしです。

7/1 *Hirado City Photo News*
互いの課題解決のために



国立大学法人長崎大学と平戸市が実施する国際医療人育成事業で平戸市民病院と長崎大学病院に配置される医師を含む長崎大学の教授らが市役所を訪れ、市長と意見交換を行いました。

この事業は、高齢化が進む平戸市の医師不足の解消と国際医療人育成のための医師の就業施設、研修施設の確保を図り、お互いの課題を解決することを目的としています。

意見交換後、定例記者懇談会において市民病院と長崎大学に配置される医師の紹介が行われました。